

新しいはしご車が配備されました

新はしご車配備

1月11日(月・祝)の湯河原町消防出初式でお披露目された新しいはしご車。その機能や特長について、消防士の田中さんにお話を伺いました。



消防士の田中さん

Q.何年ぶりにはしご車を更新したのですか。

A.昭和55年に配備して以来、30年ぶりになります。

更新前のはしご車は、神奈川県内では最も古く、全国的に見てもこれより古いはしご車は数えるほどしかありませんでした。故障しても交換部品が製造中止になっているくらいで、まさに待望のはしご車更新です。新しいはしご車は8,800万円と高額ですが、国の補助金がもらえることになり、更新することができました。

Q.新しいはしご車の特長を教えてください。

A.なんと言っても最大の特長ははしご部分です。その形からΣ(シグマ)型と呼ばれています。従来の直進式はしご車と比べると、建物やフェンスに接近した狭い場所でもはしごを伸ばすことができるようになりました。また、地上からの高さは最大で20mにもなり、ビルの7階部分まで到達することが可能です。他の消防車からの送水により、バスケットからの放水もできすし、バスケットをそのまま地上に下ろすこともできるため、火災・救助活動の両面での効果が期待されます。



ナンバーは
はしご①
8451